



こうきた 11月号

杉並区立高円寺北子供園

実りの秋

園長 須田なぎさ

先日の運動会では、保護者の皆様の応援とご協力に感謝申し上げます。コロナ禍後、久しぶりに地域の方や来賓の皆様にお声かけしたところ、たくさん参観に来てくださいました。運動会前には高円寺学園の6年生が、力強い応援をしてくれました。杉の子連の大森さんは、事前指導だけでなく、当日も駆けつけてくださり、運動会のフィナーレ阿波踊りを盛り上げてくださいました。皆様の応援のお陰で、子どもたち一人ひとりが輝く運動会を終えることができました。ありがとうございました。

今まで楽しんできたことを見ていただいた運動会は、終わった後もまだまだ続いています。

5歳児そう組が繰り返しリレーをしていたトラックを、3歳児うさぎ組が、バトンに見立てたセロハンテープの芯を持って走っていました。BGMがかかると、気分も上がり繰り返し楽しんでいました。

4歳児くま組は、そう組にリレーのやり方を教わり、ゼッケンを借りて、一緒に遊んでいました。また、高円寺学園6年生やそう組がしていた応援をまねて、自分たちで旗を作り、「フレーフレー ○○組」「がんばれ〜」と応援していました。

そう組のソーラン節は、うさぎ組くま組の憧れです。運動会后、そう組は見本を見せながら一緒に踊りました。そう組はちょっと誇らしげに、そしてうさぎ組くま組は嬉しそうに「どっこいしょ、どっこいしょ」と掛け声もいながら踊っていました。重いものをみんなで一緒に運ぶとき「どっこいしょ、どっこいしょ」の掛け声が自然と出てきています。

そう組に憧れの思いを抱き、まねしてみたりするうさぎ組とくま組。そして、小さい子には意識をもってやさしく接したりするそう組。そのような子どもたちの姿に、学びや成長を感じ、人とのつながりや関わりの大切さを改めて実感しました。

秋は、スポーツの秋だけではなく、おいしい食べ物がたくさんあります。給食では、旬の野菜や果物を献立に取り入れています。季節の食材が献立になっているときは、木村栄養士が、子どもたちに丁寧に話をしてくれています。初めてのものでも、興味関心をもって「食べてみよう」という気持ちにさせてくれています。『骨付きサンマのやわらか煮』のときは、実物大のサンマの模型を用意して、どんな魚なのか、どの部分を調理しているのか、そして食べ方などを話してくれました。

食事中に保育室に行くと、「魚嫌いだけど、ちょっと食べてみた」と報告する子がいました。サンマの一切れをスプーンで持ち上げて、「ここ」と削れた部分を見せてくれました。「そうがんばったのね」と声をかけようとする、その子はそのサンマをパクっと口の中に入れ、もぐもぐごっくと食べたではありませんか！ちょっと食べてみたら、もっとがんばることができたようです。

実りの秋。秋は気候もよく、いろいろなことをするのにちょうどいい季節です。体を動かし、おいしい栄養のあるものをしっかり食べ、「がんばる気持ち」がでてきた子どもたちの体も心も揺り動かし、充実した園生活になるようにしてまいります。

《11月の保育》

★3歳児 うさぎ組

運動会を終え、戸外に出て体を動かすことが楽しくなっています。学級の中で簡単なルールのある鬼遊びなども取り入れながら、遊びの中で十分に体を動かす楽しさを感じられるようにします。

また、色が変わった葉が落ちていることにも気付く姿があります。遊びの中で秋の自然に気が付き不思議に思ったり、遊びに使ったり、見つけた自然物を使い簡単な製作をしたりしながら秋を十分に感じて楽しむようにしていきます。

11月から降園時間も長くなるため、疲れも出やすくなるかと思えます。子どもたちの様子に合わせて、活動の内容も考えながら無理なく過ごしていけるようにします。

★4歳児 くま組

運動会を経て、ますます体を動かすことが楽しくなってきました。登園し身支度を済ませると、すぐに「外に行ってきます！」と元気に園庭へ出ていく姿も増えてきました。5歳児から刺激を受け、新聞紙で作ったバトンでリレーごっこを楽しんでいます。引越し鬼などの簡単なルールのある鬼遊びを取り入れ、学級のみんなと一緒に、体を動かして遊ぶ機会を大切にしていきます。

運動会で変身の術で修行をしたくま組は、さらにいろいろなものになりきって動くことができるようにします。繰り返しのある物語からイメージを広げ、友達と簡単なやりとりや表現する楽しさも感じられるようにしていきます。

★5歳児 ぞう組

子どもたちは、運動会の経験を経て、体を動かして遊んだり、友達と力を合わせたりすることがますます楽しくなってきました。今月は、ドッジボールなど、新たにルールのある遊びも楽しめるようにします。保育者からルールを示すだけでなく、みんなで遊びながら「より面白く、楽しくするには…」とルールを考えることも楽しめるようにしていきます。

また、12月の子ども会に向けても、役になりきって表現したり、劇に必要なものを考えたりする楽しさを感じられるようにします。そして、一人ひとりが自分の力を発揮し、友達の良さに気づき、互いに認め合いながら進められるようにしていきます。